京城新報

●平壤小觀(上)

▲小社會の半面觀

平壤大同館に於て記之

京城 岑城生

はしがき

我輩が平壤に遊んだのは明治卅四年の將に今を亘ること春風秋雨實に八年の昔である當時本邦人は三百足らずだつたと思ふが今では一萬余に増加して居る舊市街とか新市街とか何ちらを向いても舊時の觀は少しも無い桑滄の感なからずやだ

韓皇の巡幸に陪して今回平壤を見舞ひ新義州蒼義州にも行つて見る積りであつたが受持つた仕事の都合上行かれなかつた空しく五日間を平壤の客舍に過ごす殘念と思ふたが仕方がない旅の徒然仕方なしに牡丹台などに登り大同江などに遊んで見た牡丹台は松樹緑りにして大同江は滑々流がれて居るが人は榮枯の巷に迷ひ世は盛衰の鑑を離れずで人事の向上自然の變遷此廿世紀の大趨勢に平壤「さらみ」は何を夢みて居るであらうか

嬉々然として歌ひ驅け廻はるは大皇帝を迎へて無意味に喜ぶのである多くの「サラミ」は觀察使よりも寧ろ御方が都の御殿を出られたと云ふので四方八方から集まるもの無慮十万に近しと平壤新聞は報じて居る

我輩は行幸と平壤とに就て何か見る所を審かにして見度ひと思つたが夫れは新聞記者諸君が飛耳張目本社に電報せらるゝので我輩の如きは十菊六菖だ夫れよりは我輩は他の方面に筆を入れて行幸記事計りに肩を凝らした讀者に少し平壤の半面觀を讀まして見やう

(一)婦人の社會…色郷里

韓國で南男北女と云ふことがある南方は男が美で北方は女の嬋妍たるものが多く産すると云ふことだ北方美人の産地としては平壤である平壤は昔から美人の産地として有名な處で美人と云ふ美人は多く平壤から出る之に次ぐ美人の産地は濟州島だ併し濟州美人も平壤美人には及ばぬ而かも平壤婦人は頗る活潑で我輩隨分韓國を徘徊して見たが平壤の婦人は南方の婦人の如く因順姑息でない假令ば南方の婦人は多く内房深く引籠り偶々外出することあれば帳衣を以て覆面を爲し少しも顏貌を他人に見せぬ、併し平壤の婦人は覆面などは打置き男子と共に活潑に働いて居る而して平壤の婦人は一般に妓生になりたがる又其父母も貴賤となく妓生にせん爲めに育てゝ居る一婦人の女兒を抱へて僕の旅宿に何か仕事の手傳へをして居たものに種々雜談を試み其子供を貰つて歸ることは出來ないかと問ふたら否大きくなれば妓生にして出世さすのだから出來ないと眞面目に答へた妓生にして出世さすとは實に興味ある返答でないか此一婦人の返答は少なくも平壤婦人現在の境遇と希望を告白して居る詳しく探つて見ると平壤の「サラミ」は女を生むことを喜び女が嫁入れ前には必ず先づ妓生にすると云ふ樣な有樣だ

だから妓生なるものが平壤の社會に頗る歡迎せられて居る俗に韓人は平壤を色郷と名けて其色郷里の名と實とを益々發達助長せしめて居る何故に此奇怪な現象を見るに至つたかを究むるは頗る興味ある問題ではあるまいか讀者は次項によりて其消息を窺知せらるゝことが出來るであらう

文苑

●南無阿彌陀佛　山骨

肌を剜るやうな風がピユー〳〵と吹き進行く人は何れも前ノメリに小走りに歩くさまを炬燵に這入りながら猫の如く障子越しに往來を眺めて居つた一人の老爺何を感じてか「今の若いものは眞に弱武者だ俺達の若い時は寒中でも足袋を穿かなかつた、やれ〳〵見まい聞くまい語るまい南無阿彌陀佛〳〵」折柄十二三才の腕白盛りの男の兒が頬と耳と鼻の先きとを眞赤にしながら突如表から歸つて來た老爺は吃驚「新太郎か靜かにしないか」兒童は平然「猫かと思つて……」

●警鐘亂打　朔風

警鐘は亂打された『それ火事だ方角は何所だ……』と半ば頭を擡げたが忽ちカックリとして俯伏して了つた一人の壯者年の頃は二十八九であらう髮は蓬々と延び頬はこけ骨は出で見るからに痛々しい姿誰が眼にも長の病ひと外思はれぬ妻は驚いて寢器の儘表へ飛出し身を刺すやうな朔風に身体を斜にして火焔の上る方角を眺めて居つた折柄一番組の喞筒は消防夫の勇ましき聲と共にバレンを振り翳し〳〵馳せ行く刹那「お梅今の喞筒は一番組か……殘念だ」と足許も覺束なくヒヨロ〳〵として戸口迄出で來た夫の聲に妻は慌てゝ夫を制し且つ慰めて寢床に連れ行つた聽て分又秒警鐘は緩かになり市中は元の如く鎭まつた

新刊紹介

●東邦協會々報　論説、雜纂、資料、時報の四欄に分ち論説には大隈伯の「日本國民の新使命」なる三千六百餘字に亘る雄大なる一篇あり(百六十七號東京々橋區尾張町一丁目東邦協會)

●韓國農商工月報　自ら韓國一の實業雜誌と號す寫眞版六葉内容は社説及び名家の論文人物月旦雜纂等あらゆる方面の記事を網羅して漏すなく且つ初號としては編輯も巧妙に採題も奇抜なり(初號京城南山町一丁目韓國農商工會)

●韓國農商工月報　「東洋拓殖會社を誤解するものを戒む」「吾輩は此の精力を以て何故に自棄せんとするか」「韓國實業思潮と大倉氏の觀見」等は本號の重要記事なり(二號京城南山町二丁目韓國農商工會)

●特許公報　依例特許番號、類別特許年月日、出願年月日、特許證主、出願代理人氏名を載せ第十八類として高橋齋三郎氏の「送風裝置精米機」大野虎之助氏の「アセチリン燈除臭裝置」の説明と圖畫を揭げあり(四號一部十五錢京城本町二丁目日韓書房發賣)



佐倉宗吾 (二)

眞龍齋貞水講演

そこで齋藤内藏之亮利三の家は、茲に斷絶すべきであるが、太閤殿下には、其忰齋藤賴母の武勇の程を賞せられ、之を加藤清正に下し置かれたが、未だ此時は虎之助十七歲、そこで賴母は後ち、齋藤伊豆の入道龍本となりました、何故で入道と成たかと云ふと、主人の明智光秀、親の内藏之亮、叔父の大八郎の一門の菩提を弔はうと云ふ心から年齡は若いが剃髮して入道となつた、是は後に加藤家の御家老に成て、茲に其裔が遺る、其また御姉樣のお福と云ふのが、何所へ嫁れたかと云ふと小早川左衛門頭隆景の御家老稻葉佐渡の妻になつた、依て縹致が好い、然る所、隆景は稻葉を大層重く用ゐましたが、翌の金吾中納言秀秋の代になると、智仁勇兼備の武夫、稻葉佐渡の云ふ事を少しも用ゐない、そこで佐渡は嘆いて、「實に貴下は嘆はしい御人だ、此方が若し御家滅亡の事があつては、先君に對し申し譯がないに依て、斯く御異見申し上ぐるに更に御用ゐない、今は是非に及はぬ」と、稻葉佐渡は小早川家を自から浪人して、大和の吉野へ來て、內匠と改名して、お福もろ共、寺子屋を開いて、細く烟を立て居らつしやる、すると其頃ほひに夫婦の間に子供が一人できて、之を七夜に正五郎と名付けた、然るに慶長五年、關ケ原の戰ひに愈々金吾中納言秀秋は、裏切を致しまして關東方へ味方を致したに依て、後ち大谷刑部の亡靈のため、金吾中納言は其身を亡しました、少しく怪しいやうな御話しに聞へますが、現今の神經病で狂れ金吾中納言の家は潰れました、稻葉內匠之を他所ながら聞いて「アヽ嘆はしい事だ、之があるに依て、此方が左衛門尉隆景公より仰せ置かれたる事もあり、勞々いたして數度御異見申し上げたるも、終に此の如き事に成りたり、如何にも主家の滅亡殘念だ」と、浪人したけれども、何處までも誠忠なる內匠、吉野に在て嘆いて居られました、所が此方は關東の大御所、勢ひ益々御盛んとなり、二代將軍の御代盛んに、慶長九年七月十七日、江戶表御城中に於て、二代將軍秀忠公の御臺が、御產の紐を解き給ひ、玉のやうな御男子御出生あらせられる、之を駿河の大御所家康公の許へ申し上げた時に、家康公から竹千代と云ふ名前を下し置かれる、そこで此竹千代君御守役として、酒井雅樂頭忠世、土井大炊頭利勝、青山伯耆守忠俊を召されました、竹千代成人の後は雅樂頭は後見となつて仁を以て諫めよ、大炊頭は智を以て諫めよ、伯耆守は勇を以て守り立てよ、竹千代を予が鳳儀に等しくせんと思ふ可からず、予は金性秀忠は土性、竹千代は火性に生れ付いたり、風儀は直り難きものぞ、性質に從つて善政を行はしめよ、第一は、武を怠る事なきやうにすべし、醫は脉を取る時は、病人の死を知ると同じ、武道絶へなば、家の死脉と知るべしとの御意でございまする、夫から愈よ御乳の人御抱へと云ふ事になる、是は御体を御醫者がスッカリ御點になり、乳の善惡を御吟味になりまして、良いとなつた上で御採用に成りますが、併し單に乳が良い許りでは不可い、子供を產みまして、其子を里に遣つてゐるか、或は他に乳母を抱へて乳を飲まして居つて良い乳でなければ不可い、子供が死んで乳があるから、御奉公に上ると云ふのでは不可い、上つ方の御乳の人は、なか〳〵難かしいもので、種々と威儀を正すことだに、注意をするから、次第に出る乳も出なく成る、何うも良い乳の人がないものであります、そこで京都へ此事を御沙汰になりましたから、京都の所司代板倉周防守より、此度二代將軍家の御若君御乳の人を召抱へる、望みの者は申し出るやうにと、女小供にも讀めるやうに、容易く書いて、高札を方々へ立てました、



京城新報

東拓と統監府
反目は禁物なり

東拓會社創立の發起せらるゝや或る二三の人が案を作りて之を伊藤公に勸奬したり、然るに伊藤公は當時韓國の狀態に照らして時機尚早しとして顧ざりき、某氏等は止むなく成案を其儘になし置きたるに、當時閑散の地位にありし桂侯は之を聞き其案に依り會社の設立を思ひ起し東洋協會をして之に當らしめ以て今日に至れるなり、爾來當事者を遇するに至りては伊藤公も默過する能はず、間接に好意を表し盡力することゝなれり、然れども其間伊藤公と桂侯との間に多少意志の杆格する所ありて其調停に時日を空過したることもありたれども、夫れ等の支障は漸次排せられて創立の運びに達せり、而して伊藤公の干渉は役員の選擇其他の事に多少及びたるも會社成立の根本に對しては毫も參與せざりき、要するに東拓會社の創立に對しては伊藤公は始より甚しく好意を表せざりし事は明なり、若し夫れ統監府にして過去三年間に於て眞に本來の施設を完ふし來れるならば東拓會社設置の必要なきを知る可らず、不幸にして統監府は過去三年間殆んど無爲にして帝國の大陸經營に資する働きをなさゞる爲に桂侯は之れを知り、或は時勢の必要に迫られたるかは知らざるも終に東拓會社は湧出し來れり、余輩の見る所に於ては東拓會社の設立は一面に於ては統監府の不信任と無能とを證據立てるの觀なきにしもあらず、然れども既に成立したる上は過去の失態を繰返すも何の要かあらん、過去の事は過去として葬らしめよ、只現今に於て注意を要するは統監府は會社の成立に對する感情の如きは捨てゝ宜しく自己の懷に包容して活動せしむるを要す、然るに巷間に傳はる所に依れば統監府が東拓會社に對する態度が冷淡にして繼母の繼子扱ひの如しと云ふ、果して之が事實なりとせば甚だ以て宜しからざる事にして統監府の狹量を示すものと云はざるを得ず、惟ふに統監府の女性的なる從來の行懸り上斯る事なしとも斷言し能はざるなり、若し然りとすれば統監府は個々以て自己の醜態を表白するものなり、同じく帝國の大陸經營をなす機關にして不和なりとせば其損する所は何れぞや之を韓人の目より見れば東拓會社と云ひ統監府と云ひ皆日本帝國を代表するものとなす、然るに兄弟互に相爭ふ如き傾向を現はさば韓人に乘ずるの隙を與ふるものなり甚だ非なり、今日は最早東拓會社と統監府とを問はず嫉妬や功名心の爲に爭ふべき時に非ず宜しく擧國一致以て大陸經營に當るべきなり、此際に於て統監府が東拓會社を繼子扱にするの風說は日本人にも韓人にも疑惑を起さしむるに至るなり、余輩此說を聞き憂慮に堪へざるまゝ茲に警告するものなり、

伊藤公を送る

夢の如く來りたる伊藤統監は過去七十日間を夢に了り本日又々夢の如く去らんとす、此間在の余輩は夢の統監を送るの辭無きに苦しむ、

消防隊に付

近事火災頻々として起る、而かも何事にも心配性なる我京城市民は火災に對してだけは何すれぞ夫れ無神經なる、民團理事者たるもの今の時に於て消防費の增額を實行し遺憾無きの計を立つるに非ずんば後日臍を噬むの悔あらんや必せり、

東京電報

▲**織物業者決議** 全國織物業者は惡法紀念祝典に對して左の決議をなせり

本會は惡税廢止の目的を達したる後に於て惡法祝賀會を開くも遲からずと信ず（八日發）

▲**副總裁の渡韓** 吉原東拓副總裁は昨夜渡韓の途に就く見送り人非常なり（九日發）

▲**秘書官の復奏** 過日勅使として京城に來り伊藤統監を訪ひたる日高内大臣秘書官は本日午後歸京し侍從長を經て陛下に復奏せり

▲**總務大臣會見** 政友會代議士會は阿里山問題、電話度數制說、鳥補助南米航路補助の凡てを否決し三總務は酒匂に西園寺總裁を訪ひ右決議を報告し今朝歸京の上桂、寺内、平田の三大臣と會見密議を凝らせり其の結果南米航路外二三の政府案は成立すべし（以上九日發）

▲**航路補助復活** 南米航路補助問題は西園寺氏の訓示と桂首相の懇請に依り政友會代議士會を開き討議の結果異論ありしも復活するかどに決定せり（九日夜發）

雜報

●**諸問題の決議** 既報一昨日の定例會議に提出されたる内部官制改正案其他の諸問題は何れも原案通り議決されたる由にて統監の承認を經たる上遠からず發表せらるべしと云ふ

●**滿鐵收入增加** 滿鐵一月中の收入百四十八萬四千三百十五圓、本線一日一哩九十圓滿鐵會社創立以來未曾有の收入なり是れ多くは豆粕の運賃なりといふ

●**宋内相の渡日** 宋内相は韓國皇太子新年問安のため渡日を命ぜられ本日伊藤統監と共に仁川より軍艦にて渡日することゝなれり

●**閔宮相の渡日期** 既報の通り閔宮相は御親書を日本天皇陛下に捧呈するため渡日を命ぜられたることは一昨日官報號外を以て發表せられたるが其の出發期日は未だ確定せざるも本月十三四日頃出發する筈なりと云ふ

●**閔次官東上用向** 閔内部次官は本年度新に任用すべき中央及び地方官吏候補者の人撰其の他の要務を帶び近々渡日する事に決せり

●**參與官定例會議** 九日午前十時より統監府にて各參與官參集し定例會議を開けり

●**大臣會議の休會** 昨日開かるべき大臣會議の例會は本日伊藤統監出發に付き休會したり

●**總裁の内閣訪問** 宇佐川東洋拓殖株式會社總裁は一昨日林井上兩理事及び嶺秘書役長を隨へ内閣を訪問して新任の挨拶をなし終りて農商工部及び度支部を訪問せり

●**紀元節ご晩餐會** 曾禰副統監は明十一日午後六時より統監官邸に紀元節祝賀晩餐會を開かれ大久保軍司令官を始め文武高等官に夫々招待狀を發したり

●**航路補助金請願** 李允用を社長とせる共同汽船會社及び仁川の有志者は各々西沿岸の航路を開始するの計畫を立て農商工部へ航路補助金交附の請願をなしたる事は既報の如くなるが右は其の請願書に添付せる參考書に完全ならざる點あり更に寄港地及び其の附近の物資集散の狀況其の他を詳細に調査し提出すべきを命ぜられたるに依り當事者は目下此れが調査中なりと云ふ

●**韓國驛屯土授受** 拓殖會社が其の第一着手として爲すべき事業は驛屯土の授受なることは既に報道せしことなるが度支部にては會社の準備次第に依りて何時にても之れに應ずるの用意を整へ居れる由なるも一万余町歩の地面は從來の慣行にて斗落計算に爲しあること故之れを引渡す場合は双方立會の上精細なる測量を經て受授せざるべからず又時日も相當に要する上に其の土地は全國各地に散在せる故各方面に渡りて受授を爲すことゝなるが回收初は南韓、慶尙、全羅の方面より初むることゝなるべしと

●**都督府の新事業** 關東都督府來年度の新事業は中學及び高等工業學校の新設にして其豫算は二十五万圓なるが校舍は旅順に於ける露國時代の建築物を利用する筈にて中學は來る四月より工業學校は明年より開始の豫定なりといふ

●**裁判事務と警察** 區裁判所の激增と其の他の裁判事務の擴張に從ひ檢事の事務は裁判所構成法の規定によりて警察署長たる警視又は警部に於て之れを扱ひ強制執行に伴ふ執達吏の事務も又警察署にて取扱ふことゝなれば警察署側に於ては頗る事務の繁劇を來たすにより内部に於ては之等の事務に應ずべく夫れ〴〵準備中なりと云ふ

●**拓殖會社の移轉** 東洋拓殖會社は元軍司令部跡借用交渉中なりしが元京城憲兵分隊跡（明治町三丁目）に決定し一兩日中に移轉同所に於て事務を執るべしと

●**全韓暴徒大討伐** 現今暴徒が其の勢力を振ひつゝある地方は全羅南道及同北道の南北部に跨りたる地方即ち南原、古阜の方面と京畿道北部及黃海江原、兩道の境にある一部にして其の筋にては近々守備兵を派遣し大々的之れが掃討に從事すべき筈なりといふ

●**行旅病者救護法** 韓國内地に於ける日本人の行旅病人及び行旅死亡人に對する地方官憲又は面洞等の取扱ひ及び救護の費用に關しては未だ何等の規定無きを以て從來臨機の處置を施し來れるが地方費規則制定の後は此れに關する規定を設くる筈にて内部に於て調査中なりと

●**開東教會の近狀** 日本人側の後援を以て長橋に事務所を設け開教に努めつゝある開東教會にては今回地方布教に從事し大に發展する筈にて二三日中各方面へ教師を出發せしむる由なるが此の會は政治には何等の關係なしと云ふ

●**製莚會社の狀況** 大邱なる南韓製莚合資會社は從來韓國の莚の原料たる莞草を以て日本流の疊表を製造する目的を以て創始され農商工部產業獎勵費の中より年額一千圓の補助をなし目下會社に二名の日本人教師を傭入し韓人職工二十餘名に授業中なるが其の成績頗る良好にて過日韓皇巡幸の際金三百圓の御下賜ありし會社は製作品を獻納し伊藤統監へも贈呈せりといふ因みに同會社支配人法學士小倉武之助氏は製作品見本を携帶し七日來京せり

●**釜山對北韓貿易** 釜山港より直接北韓各地へ輸送する荷物は漸次激增の傾向を示しつゝあり今昨年及び昨年の重なる貨物を比較するに此の直送貨物は二十五萬四千七百六十四圓の激增を爲したりといふ

●**貨幣發行高週報** 第一銀行韓國總支店にて一月三十一日より本月六日に至る迄一週間の貨幣發行高は左の如し

第一銀行券總發行平均高（自一月卅一日至二月六日）	九、二二二、八〇〇圓
内正貨準備發行額	三、一二四、四〇〇
保證準備發行額	六、〇九八、四〇〇
銀行券平均手許有高	六六八、六一三
銀行券市場平均流通高	八、五五四、一八七
硬貨發行額（二月六日現在）	三、八六〇、六二五
内金貨二十圓	八五〇、〇〇〇
同 十圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	六六八、五〇〇
同 廿錢	一六六、〇〇〇
同 十錢	三九三、〇〇〇
白銅貨五錢	八八九、〇〇〇
青銅貨壹錢	一三二、三五〇
同 五厘	六一、七七五
金貨 五圓	五〇、〇〇〇

●**驚くべき滯納者** 大邱第四期當民團稅は前月二十五日限り納附すべき所納期を經過せる今日其滯納者は頗る多數にて調定額三千八百八十八圓四十二錢に對し八百三十六圓六十六錢の滯納者あり又第一期及び第二期滯納者は總數三百四十人中行衞不明者百四十五人、同地居住にして滯納せるもの百四十一人あり民團役所にては此際大に滯納處分を勵行すべしと云ふ

●**外國語學校々友會** 東京外國語學校出身者は七日午前十時より龍山なる入營園に於て校友會を催したるが會する者日韓人三十餘名鳥井幹事會務を報告し國分會長（象太郎氏）は本會に對する將來の希望を述べ夫れより宴に移り一日舊を語り將來を述べ散會したるは午後四時也

●**統監の事務引繼** 曾禰副統監は昨朝伊藤統監を其の官邸に訪ひ事務の引繼をなしたり

●**五十年來の暖氣** 滿洲本年の氣候は五十年來の暖氣にて降雪甚だ少なし爲めに今年は大不作ならんと農民は何れも不安の念を抱けり尚ほ營口附近遼河の氷は昨今大に薄くなり馬車の通行を停止せり此順ならば本月末には全く解氷するならんといふ

●**參謀長の披露宴** 陸軍少將明石元二郎氏は軍參謀長に就任せるを以て曾禰副統監大久保軍司令官西島師團長各參與官其他日韓文武官四十余名を來る十三日午後六時より花月に招待し披露宴を催さるべしといふ

●**憲兵本部と將校** 憲兵本部副官中尉辻松次郎氏は大坂憲兵分隊長に轉任不日赴任の筈なるが其後任副官は中尉松村金治氏命ぜられ中尉黑谷憲治氏は本部詰となりたり

●**憲兵分隊の移轉** 京城憲兵分隊は元軍司令部跡に移轉せり

●**憲兵將校の着任** 憲兵中將石崎直太郎同小栗直作同古森雄夫氏は八日着任他はそれ〴〵分遣所附を命ぜられ不日赴任の筈也

●**木杯及褒狀下賜** 佐賀縣平民柴田又三郎外九十六名は學校其他へ寄附したる廉に依り今般統監より褒狀及木杯を贈與せられたり

●**韓國鐵道冗員** 韓國の鐵道に冗員夥だしきは何人も認むる所なるが這は畢竟日露戰役の當時建設を急ぎしため一時に多數の掛員を要し其人物の如何等は問ふの暇なくして應ずる者は盡くこれを採用せる結果に外ならず而して管理局となりてよりも何等之に對して冗員の淘汰を行はず故に現今は此等人物の配置に窮し徒らに官を設くるのみに汲々たる有樣也一例を擧ぐれば一出張所內の工事は出張所內の工務掛に於て處辨し得るに拘らず特更に工務掛派出所と云ふが如き厄介物を設けて技師以下數百人を配置するあり一工事ならば二區に別つ必用なきに特更に二區に別ち其一區の主任は請負人の工事を監督する者なる故に內地にては雇員若くは下級の技手を以て之に充つるに拘らず高級技手（俸給百圓以上）の外に尙助手として一名の技手（八九十圓）を附するあり斯の如き有樣なるを以て一ヶ所の出張所に技師三名あれば澤山なる處へ常に十數名を使役し居れりされは今假に官制を改正せば多數の免職者を出す爲め特更に設けある役柄なり故に事務澁滯して容易に進渉せず殊に驚くべきは各所を通じて散在する冗員は專務なき爲些少の事柄にても打合視察等の名目の下に各地に出張して旅費を貪るなり（高等官日當三圓五十錢宿泊五圓判任日當二圓宿泊四圓故に一泊すれば高等官日當二個分七圓宿泊料五圓計十二圓となる判任八圓）而して此等の冗員は平常何を爲しつゝあるやといへば月給百圓の者が寫字生（日給六十錢位）の仕事を爲すの外爲すべき仕事もなくして尤も一昨年大改革ありしため比較的少數なるも尙淘汰の余地あるは勿論なりと大阪朝日は痛論せり

●**鑑定價格及取扱** 當地輸出入貨物鑑定價格及取扱方に關し京城日本人商業會議所にては昨年來南大門稅關出張所に向け再三交涉中の所同所にては今回左の如き事務取扱內規を設けられたりといふ

檢查事務取扱手續內規

一 通則

第一條 貨物の檢查は貴重品又は腐敗し易きもの又は申告者若くは其代理人の請求に依り立會檢查を爲すべし一時に數人檢查の請求ありし時は申告書番號順に依るべし

第二條 貨物は其種類に依り左の區別に從ひ指定檢查を行ふべし

一、一包裝內の容量若くは重量が商業上一定し運搬中減量を生ぜざる貨物は其內一個を檢查すべし

二、一包裝內の容量若くは重量が商業上一定せるも運搬中減量を來すべき貨物及一包裝內の容量若くは重量が區々一定せざる貨物は全數の一割以內を檢查すべし

三、一包裝內の容量又は重量の不同なるもの及び一包裝內に數種の物品を混入せるものにして仕入書又は明細書の添付なき場合は全個數を檢查すべし

四、第三項記載貨物にして各包裝每に內容物の種類數量等を詳記せる書類を提出せるときは其內一個を檢查すべし

但明細書又は仕入書と現物と符合せざるときは尙ほ數個若くは全個數を檢查すべし

第三條 檢查官吏は申告書面記載の記號、番號其他の要項と現物と對照し相違なきを認めたる上內容の檢查を開始すべし

第四條 檢查に對する貨物の開裝及復裝は申告者又は其代理人をして之を爲さしむべし

第五條 檢查は物品の種類品質數量及尺度價格の鑑定稅率の適用及統計に必要なる事項に付きて之を行ひ查定の結果を申告書相當欄に朱記すべし

查定の資料に供したる檢查の成蹟は申告書の裏面に記載すべし（未完）

公人私人

▲朴重陽（慶尙北道觀察使） 一昨日入京三日月旅館へ投宿

▲古森雄能夫（憲兵中尉） 一昨日入京山本旅館投宿

▲小栗直臣（同上）

▲石崎直太郎（同上）

▲大庭貫一（平壤民長） 一昨日入京浦尾旅館投宿

▲本田幸助（勸業模範場長） 一昨日入京巴城館に投宿

●近事片々

▲十一月中旬歸任し珍らしくも越年して腰を据へたる伊公亦去れり其間七十余日也

▲其間に公の爲したる事は只南北兩韓の巡視のみ之にて切上げ些とアッ氣なさ過る

▲例によりて軍艦吾妻は來りて公を待てり本日午前十一時之に乘座しホット一息乎

▲併し歸任の度每に何事かなして御茶を濁して東上するは惡いもの茲が明治の才人

▲借も此次幕は何でムる議會の報告を亦例に依りて華かになして一寸御茶を濁す乎

▲其次は印綬を解いて誰かに渡すか夫れとも亦反撥して長白山頭埋骨を繰返すにや

▲伊公歸任每何時も韓人大官の御伴あり今次は李宋は其まゝにして閔爽のみ伴へり

▲留守の間に完用乘畯の爭ひなきか之は些と險吞千萬と思ふが伊公は留意せざる乎

▲宋完の爭ひや旣に久しと聞く伊公の調停に依り圓く納まりしかハテ猜氣遣はし矣

▲內閣も現狀維持其他の事も總て現狀維持少しも進捗を見ざるは果して喜ぶべき乎

▲官紀振肅及賞罰も其儘にして伊公は歸東せり果して之は放任し置く可きものにや

▲官紀不振の聲は久しく叫ばれたり官吏の淘汰說も久しく傳はる總て何等制裁なし

▲斯る事を放任し置くは果して統監政治の面目なるや否や人皆伊公の心事を疑はん

▲賞罰を明にするは政治の要目なり清濁混交は決して官紀を亂す所以にあらざる也

▲之を亂さゞるは獨に日人官吏の風紀を革むる能はざる耳ならず韓人に威嚴を欠く

▲日人官吏に對する韓人等の批評を聞かずや渠等既に冷笑を過ぎて罵詈しつゝあり

▲露國は尼古來斯克を以て軍港をなし其經營に着手すと云ふ對岸の火災視する勿れ

▲韃靼海峽は之により勢を異にするに至らんコルサコフ及宗谷海岸の設備を要する也

▲漁業區として尼古來斯克は有名の處今後の邦人漁業は如何になり行く可き心細し

▲米國排日親玉ジョンソン曰く日本人は貪欲なり我等の子弟を同一に盤く可らずと

▲失敬なるにも程がある斯る暴言者を米國政府は取締ること能はざる乎借も不思議

▲斯くも暴言を放て排日煽動をなすものあるも我が政府は關せず焉を極め込む乎

▲政友會は頻りに強がり居るも終には桂侯の拜み倒しに依りてグニャンは御極り也

●愛國婦人會彙報

▲故山本警部の弔慰 愛國婦人會韓國本部にては故山本警部の殉職なる最後に同情を表し睦五日の葬儀には本部總代として黑田[illegible]

▲花籠獻納 [illegible]金十圓を寄附したり 韓皇南西各地巡幸の際は各委員は會員申合せ花籠獻納方を申出でたるにより一昨日韓國本部を經て宮中に獻納したるが[illegible]御下賜金の恩典に浴したる[illegible]大邱委員部に[illegible]

▲鎭南浦委員部の活動 各地委員部中韓國婦人會員の多數を占め居るは鎭南浦委員部にある韓婦人が實際家政上社交上[illegible]以て兩國婦人間の親睦融和に資せんとて今春來各部守等と協議を遂げ種々なる困難を[illegible]

●南浦現在穀物數

品目	個數	石數
白米	四〇六五叺	一、三四四、七
玄米	四二六叺	[illegible]
糯米	一八叺	[illegible]
大豆	三、七四七叺	[illegible]
小麥	二、九三一叺	六、四六五、五
裸麥	一、五〇〇叺	五〇〇
合計	六八、八一六個	三四、八六二二

▲故山本警部の弔祭 愛國婦人會韓國本部にては故山本警部の勇敢なる最後に同情を表し去五日の葬儀には本部總代として黒田淺見、木島等の各夫人會葬し且つ遺族に弔なし何れも赤十字社各委員部同様多額なるを了したり

ある韓婦人が貨殖家政上社交上割合に勢力あるにより成るべく日本婦人に接近せしめ……誘導に盡力中なる由

●南浦現在穀物數 去月末調査鎭南浦現在穀物數は左の如し

米	一八叺	九
粟	三、七四七俵	二、九六、七
大豆	二二三叺	一一〇、五
小豆	二、〇四五叺	一、〇二三、五
合計	六八、八一六個	三四、八[illegible]

●七代目 芳村伊三郎 (九)

▲藝術修業の困難

▲新富座の丸燒 明治九年に日本橋の若屋町から出火して新富座も澤村座も丸燒となつた、此時の芝居は天草騒動で彦三郎の忠衛門、菊五郎の天野四郎、芝翫の赤垣大膳、團十郎の五郎左衛門、左團治の作左衛門で之れが序幕(三立目)であつたが此火災を父伊三郎が豫言した、芝居が初まると『ドウモ今度の芝居は火事になる』と言つたが其理由は天草戰爭の際京都の島原に火災があつた、又新富座附近は以前遊廓であつて名を島原遊廓と稱へしも火災に遭つて遊廓は再興せず劇場杯が出來た、そこには因縁から丁度出し物が天草騒動であつたため火災を豫言したら果して適中したのだ、

▲大猫が護る 新富座には犬の様な大きな猫が居た或時(火災前)此猫が幕を落して其幕が舞臺で燃へた者だから人々不思議に思つたに間も無く火災があつた、是れは猫が火事を知らしたのだと言つて居た、爾來一座の人は新富座は猫が護つて居る杯と言囃したとか

▲彦三郎の死去 彦三郎は此新富座の火災後大阪に赴いて非常な人氣を取つて居たに其翌年即ち明治十年五十何歳を一期として大坂の土地で死亡した、一世の名優阪東彦三郎を失つた當時の梨園界は何んとなく寂寞たる様で世人は非常に彼れの死を惜んだ、

▲西南役の芝居 新富座の燒けた後ざぶ板新道(島原遊廓時代の綽名)と云ふ處に假小屋を設け團十郎が座頭で興行をした、丁度西南戰爭の濟んだ頃であつたから其芝居を作つて團十郎が西郷、菊五郎が篠原、左團次が桐野、宗十郎が今井四郎、小團次が別府新助、半四郎が桐野の妾れころ杯で大變な大入で前年の秋から翌年の春迄持越して假小屋で實に七十日間の長時日打續けたのであつた、

●父を尋ねて日本行

▲憐れなる二人の兄弟 本月四日午後四時半頃年若き二人の韓人横濱市伊勢佐木町署へ出頭し係官に對し何事をか訴ふる所ありしも言語通せざる爲め要領を得ず程して引取らしめしが今彼等が横濱に至りし次第を聞くに年嵩なるは李俊榮(二十)今一人は李滿熙(十八)と云ひ咸鏡道にては其名も高き豪族李圭賢(六十)の伜にて兄弟なり父は非常の慷慨家にて國政の獨立を企圖し如何に善隣の保護を受くるも快よしとせざる折柄日本より同國保護の爲めに統監府を置き全般の政治は我が統監の手を經ずして左右する事出來ざるやうなりしかば李圭賢は之れを以て早くも我が韓國は日本の屬國となりしが如く臆斷して恨みを抱く事一方ならず折あらば我が同士を糾合して韓國の獨立を斷行せんとし幾度か計破れ素志を貫く能はず空しく天を仰いで時機の至るを待つ折柄今回韓帝が國内御巡遊仰せ出されしより味方のもの約三千餘名に内意を含め直奏に及ばんとせしを其の筋にて看破されしかば李圭賢は早くも風を喰つて逃亡し行衛不明となりたるにぞ右の兄弟は父戀しく種々心當りを尋ねし處日本に落延び長崎に居るとの事を風の便りに聞き取るものも取り敢ず長崎に至りたれど雲を掴むやうで更に分らず若しや横濱にでも居はせずやと尋ね至りし次第にて長の道中所持の金子も殘り少になりければ保護願を申出でたるものと分り右兩人は同日夕刻東京差して出發したるが兄李俊榮は頭髮を分け黒羅紗の脊廣洋服にオーバコートを着し一見日本人に異ならず又弟は白綾の韓服を纒ひ居たりと

●月と花 (二)

魚遊痴史

▲皆春樓 ●●小金貯蓄して戀い主と 花のあづまで新世帶●●

▲淸月樓 ●●優しい箏助情美の文句 花も香もある桃太郎●●

▲第一樓 ●●芳齢も若蝶身は花町に 艶姿美くし舞ひの袖●●

▲第一樓支店 ●●右近櫻に藤むらさきの いづれ劣らぬ花の色●●

▲京城樓 ●●思が屆いて京子の頃は 見る物菊子と嬉うて●●

▲山遊樓 ●●息を九十九の間も浪枕 烈しい八島の船軍さ●●

●三人組の海賊出沒

▲二名は海中に飛込み

▲一名は遂に捕縛さる

仁川附海を根據とし漁船を襲ひて金品を掠奪し又時には上陸して强盜を働く三人組の韓人が仁川に入り込みたりとの事を仁川署の聞く處となり過日命部長以下熱心に搜査中なりしが同海賊金貴瓜(三十)外二名は斯とも知らず一昨一万石洞方面に强盜を働かんとしたるを張込中の命部長が發見し直に縛せんとしたる所外二名は此の窓を物ともせず海中にザンブと許り身を沈め何れにか姿を隱したるが金貴瓜のみは難なく捕はれ目下仁川署にて取調べを受け居たりと

●花は紅柳は緑

昨日の榮華は今日の夢思へは水の流れと人の身の行末程分らぬものはなきものをさツク〲世を恨み身をはかなみしも併し之も浮世の習ひと諦めりしかども〲家計は貧しく今年五十の阪を越した父親がいみじくも車を曳きて一家三人の糊口を凌がすはならず母も亦性來繊弱き質の朝早くより餘所の針仕事に出で行くといふみぢめな境遇にナドて女とはいへ生若き身の便々と爲すこともなく日を送り居る譯には行かず再び三筋の糸に縋りて坐敷に出でんものをと思ひ定めつれど朋輩の手前土地で稼業をする事の心辛く彼れや是れやと思案の末豫て思ひ越せし平壤の三吉姐さんの所へ細々と書面を認めて身の振り方を頼みやりしに『左樣な都合なら一日も早く來るがよからう』と旅費は出立の際送りやる程に……』との親身も及ばぬ情ある返事に早速此の由を兩親に相談せしに兩親は一人娘のた前に遠く旅立れては何とも心許なくソレに朝鮮といへば日本とは氣候異り繊弱き女の身の万一の事にてもありし折はソレこそ取ても附かぬ大事何も外國に迄出稼せずとも土地で稼業をするがよく第一には其の身の爲め二つには兩親の安心此れ許りは思ひ留まるが宜からうとタツて留むるより妾しも餘儀なく兩親の言葉に從ひ姐さんの處へは其の行き筋を言ひやりしに間もなく或る日隣りの大工稼業をなし居る懇意なものが朝鮮へ行くといふ噂さを耳にせしより又々元の考へが胸に湧き這度は無理に兩親に迫りて其の懇意のものと共に朝鮮に來ることゝはなりたり(つゞく)



新俳優 西萬兵衞

●天然痘の猖獗

仁川の天然痘其の後益々猖獗を極め居れるが税關第三棧橋下繋留の榮丸第七號停組員山下萬次郎(三十)は再昨日同病に罹り直に避病院に收容せられたるが一昨日又松本病院より届け出に依れば寺町三丁目安地政夫(八十)と云ふが過日來同病に罹り居たるに何等届出でをなさずして一昨日死去したる後届出でたれば直に火葬に附したりと

●南部署の事故數

四十一年中南部署管内に於ける說諭事件は其數約千件に上れるが内警察限り行政處分に付して放還したる十件以上の營業種別左の通りなるは以て社會狀態の一斑を知るに足るべし 雜貨商十件、土木請負業十件、酌婦十一件、左官十三件、大工十九件、車夫廿九件、雇人三十四件、土方七十九件、無職八十五件

●小熊警部大手術

去月廿日仁川支那町出火の際消防に盡力中頭部に負傷したる警視廳警部小熊九滿藏氏は爾來自宅に於て治療中の處經過不良の爲め昨日漢城病院に入り大手術を受けたりと

●淫賣婦の說諭願

仁川花町一丁目明石家と稱する飮食店の酌婦船本とよ(十九)は昨年十一月同家に住み込みたるが昨今の不景氣に一向酒客のなきため主人は相手選はず客を取れと勸め若し取らぬと云へは毆打せらるゝに堪へ兼ね一昨日仁川署に右の旨訴へ出でたれば主人召喚の上說諭を加へたり

●(演)…(藝)…(だ)…(よ)…(り)

▲歌舞伎座 今二日目の替りは大每所載小說柳浪子作の『松山嵐』全十幕にして重なる配役左の如し 松山國重(三輪鼎)金輪鼎(西萬兵衞)太作の娘れ花(平野照子)松山千代太郎(池田二郎)松山久子(上田榮)職工長伊十松(稻葉喜久雄)金輪妻妙子(日東新兵衞)

▲永樂亭 三遊亭遊七一座の新藝當を演じ頗る好評を博し居れるが本夜より新内を加へ一層奮發し居れり 新講談吉丸生立(赤團)八陣八ッ目(梅笑)講談梁川庄八の傳(吾樓)鈴ヶ森の段(大之助)曲藝(ステテコ)落語(遊七)新内明烏(鶴賀若吉)

●義捐金募集

今回警視廳巡査山本雅夫氏が兇賊の爲め非業の死を遂げられたるは職務の爲めとは言ひながら誠に同情に堪へざるものあれば吾々同業者は茲に義捐金を募集し氏の遺族に送ることゝしたれば同情の諸君は左記何れの社にても差支なきを以て續々申込みありたし

一 義捐金申込は一口十錢以上とす

一 締切は本月十五日限り

一 領收證の替りに新聞に揭載す

一 義捐金は警視廳の手を經て遺族に贈與す

二月二日

京城日報社 大韓日報社 朝鮮日々新聞社 京城新報社

故山本警部 吊慰金義捐者

一金五十錢 西大門鐵道官舍 木下澤三

通計二十八圓二十錢也

●天氣豫報 (自九日午後六時 至十日午後六時)

西の風晴

九日 最高溫度(華氏) 三六、〇 最低溫度 二一、八

高氣壓は黄海にありて北の風吹き一般に快晴なり

▲無料紹介欄▼

人事部

求事業家 確實なる事業にて年十割以上の純益あり金五百圓以上出資し得る人を求む 旭町一の六十 京仁商會（一六三）

求妻 知人年三十五歳品行方正身体健全月收百圓餘三十前後にして普通教育ある婦人を望む 旭町一の六十 川村（一六四）

韓語速成敎授 本町六丁目六五韓語速成講習所（一六五）

十九高等小學校及補習夜學卒業如何なる仕事にても不苦成だけ給料の多きを望む 姓名在社（一六七）

被雇度 法律事務に心得あり年齡二十三歳 履歷書在社（一七〇）

簿記に心得あり會社官廳を望む年齡二十六歳 履歷書在社（一七一）

物理學校及中學校卒業の者數學物理日語敎師に被雇度地方行にても宜敷俸給不論 姓名在社（一七三）

物件部

貸家 龍山停車場前十五間道路筋新築表口三間奥行四間瓦葺二階家疊建具一切付用水の便あり龍山停車場前 電話四九島田（一四五）

貸家 龍山漢江通り三丁目十五間道路一等場所にて間口三間總二階附 京城明治町一丁目 ゑり德（一五〇）

商店 向貸家但平家造作付間口三間店土間五坪六疊一室裏空地十五坪家賃二十三圓 永樂町二赤門前 岡（一五六）

土地 南山町二丁目南山麓眺望絶佳約三百坪割貸又は賣却何れ共御相談に應ず 永樂町二丁目 岡内（一五七）

測量用「トランシット」脚附一基 一十二磅輕便レール四十七チャイン 右賣却したし御入用の方は下名へ 南山町一澤田舘 小谷（一五八）

瓦葺二階建新築家屋上六疊、三疊下三疊、六疊敷溫突付外押入れ所臺所厠あり疊建具一切完備床及玄關付紳士に向適當なり 南山町一丁目獨島三吉 電話八三五（一五九）

電話至急買受けたし 本町五 月の家（一六〇）

貸間 二階六疊二間床間押入付 至急貸したし 旭町一の六十 京仁商會（一六一）

雜貨 見切品見世仕舞品及諸道具其他不用品何でも買入ます 旭町一丁目 旭町競賣所（一六二）

賣家 大和町三丁目遊廓裏道川端地坪約五十坪瓦葺平家造作付四軒建長家井戸付屋敷賣却致度 赤門 岡（一六八）

貸間 旭町便利の場所に賄付上等貸間あり高等官亦會社員向御希望の方は電話六五九番に御紹介致下度候（一六九）

貸家 若草町一、溫突一間疊敷二間日本流押入二個付外に炊事場玄關付家賃十三圓 若草町一ノ一二九矢島（一七二）

貸家 若草町一ノ溫突二間疊敷二間日本流押入付外に炊事場玄關家賃十三圓 若草町一ノ一二九矢島（一七三）

旭町一丁目山の手にて風景絶佳の土地建物付にて讓り度し 姓名在社（一七五）

廣告

▲清潔の下宿▼

客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戸横小路（元花屋跡）

▲懇切の下宿▼ かめ屋

●土耳古金口莨直輸入●

ジーデーシエリス會社 出張所 明治町一丁目 エムジーシエリス

●韓國特約販賣店●

京城黃金町 井出商店 電話一九〇番

釜山本町 内山米太郎 電話一〇七番

平壤大和町 佐藤商店



代理店

京城南大門通三丁目 新井藥房 本店 京城本町三丁目（電話四七八番）

新井藥房第一分店

新井藥房第二分店 京城南大門外



特約店（いろは順）

本町六 田中支店 電話七六四番

本町四 前田酒店 電話一三七番

本町五 酒井政平 電話六四番

無煙煉炭

燃料 無煙煉炭 ●特色 火付着く火力耐久價格低廉 ●用途 瀛鑪、暖爐、竈用に適す

●周…徳山…省煉炭所東隣 谷口無煙煉炭工場

京城特約店 京城…電話六〇三 巴商會 韓國一手販賣

京城本町二丁目 田…

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣

末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材

建築業 京城旭町三丁目 柴田芝六 電話五六八番

●寒氣と牛乳 ●牛乳と消毒

韓國畜産株式會社 南大門外（電話八八番）

代書部

訴狀諸願書申請書類調製 定款規約書等作成 登記登錄證明願手續 外國旅券出願代辨 官地貸拂下出願代辨 諸工事殖林等設計 土地建物鑛山測量製圖

紹介部

水田宅地鑛山賣買貸借仲介 電話店舖等讓渡仲介 船舶其他大物品賣買仲介 金錢貸借仲介 債券證券賣買仲介 諸大家書畫骨董紹介 諸外國諸道具並譲渡

本事務所は誠實を旨とし堅く秘密を守り普通事務は即時解決し依托事件を迅速に成効せしむることを期す

京城本町一丁目（民團役所前） 佐々木事務所

[illegible]物[illegible]場

西洋料理 東京高輪壽し 會席料理 丼類いろ〳〵 折詰辨當 同サンドーウヰッチ

南大門停車場構内 エーテー淵田 電話六八七

登記漢城府手續 諸願届代書 土地鑛山測量 集金取立代辨 土地家屋賣買其他 金錢貸借諸般ノ仲介

京城本町一丁目民役所前 岡田事務所 取次電話六二四

東京産婆學校卒業

産婆 荘野キヌ

龍山十五間道路 鐵道官舍十六號

[illegible] 京城本町五丁目 …三二一館

大上商店

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

和洋酒、精酢、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、壜辛各種特約販賣

尚御望に依り商品切手調進仕候

（電話二五一番）

東京火災保險株式會社

明治廿年創立資本金一千萬圓

日本國火災保險業の嚆矢

代辨店 山口呉服店

事務所 京城本町二の三電話九番

移轉謹告

嚴寒の候各位樣益々御商榮奉敬賀候 陳者弊店今回都合に依り左記の所に移轉し從來兼業の雜貨部を廢し綿布類一式卸賣に專心全力を盡し大阪支店に輸出部を設置し織物税は之れを省き非常の廉價を以て廣く各位の御高庇に浴さんことを期し候希はくは弊店新進の勉勵御試買旁々多少に不拘御用命の程伏而奉願上候 敬白

追て遠方書狀にて御注文の際大凡見積り金を送付の方は荷物送付の運賃は弊店負擔可致に付精々御注文奉所上候

京城旭町一丁目百十八番地（日の出湯より七軒目上る）

大伴京城支店

▲轉宅荷物運搬

（京龍間建築土木材料其他諸貨物の運搬及び人夫請負）

弊店儀今般右の營業を開始仕候に付ては貨物の多少又は土地の遠近に拘はらず御報知次第直ちに店員を派出して御用命に應じ可申尚ほ弊店は責任を重んじ万一御委託物に對し店員の不注意より損害を加へ候節は弊店に於て其賠償の責に任じ決して御損失は相掛申間敷候間續々御用被仰付度此段謹告候也

京城南大門通り二丁目二十番戸三浦商店向側

店主 有田豐太郎

有田運送店

免許

●移轉廣告

催眠施術

無催眠治療

（注意）無催眠治療藥を用ひず催眠術を施さず輕きは一回重きも數回の治療克く數年の固疾を全治す 無催眠治療に適する諸症左の如し

子宮病 ヒステリー 眩暈 胃病 月經不順 氣欝 便秘 齒痛

京城若草町一丁目八十七番戸ノ七

（若草町一丁目旅田雜貨店東ヘ入ル一丁目門内櫻井湯西ヘ入ル第二弘生醫院隣）

弘濟療院

移轉御披露

今般左記の所に移轉す

永樂町貳丁目（赤門通り本町より五軒目）

洋服商 東京塚原支店 原雄吉

京城 株式會社第五十八銀行

電話番號五十八

資本金三百萬圓

爲替取先組

畿内 大阪、京都、西、陣、見、伏奈良、郡山、八木、高田、田原、本貝、堺塚、岸和田、御影、兵庫、神、戸住吉、平野、吉、

東海道 靜岡、沼津、濱松、豐橋、名古屋、宇田、熱田、龜崎、四日市、津、山田、桑名、松阪、東京、横濱、千葉、大磯、甲府、鎌巡、

東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、多治見、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、仙台、青森、秋田、土浦、能代、

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大寺、

山陰道 高岡、富山、伏木、新潟、宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、濱田、久手、大田、宅野、

山陽道 龍野、明石、赤穗、姫路、西大寺、倉敷、笠岡、庭瀬、高梁、玉島、西江原、山、納、府、尾の道、三原、呉、宇品、廣島、岩國中宮市、三田尻、德山、小郡、山口、柳井本津、平生、長府、小月、下關、萩、岡山、

南海道 串、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、郡中、西條、松山、三津濱、高知、

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、長須、大分、湊（島原）、長崎、佐世保、唐津、伊萬里、牛津、呼子、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、

北海道 函館、小樽、札幌、

台灣 臺北、臺南、

韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、

銀行一般の業務精々便利に取扱可申候

純洋種牛乳 良

京城南大門外 (電話…) 營井牧場

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店 仁川海岸通 郡回漕會 電話三九番

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 二月十二日後三時出帆

●大連行 高砂丸 二月十六日後一時出帆

●大連、大沽行 山東丸 三月二日前五時出帆

●大連、大沽行 酒田丸 三月四日正午出帆

●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 上川丸 二月二十四日

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金壹圓 ▲六ヶ月前金貳圓 ▲郵税一ヶ月…
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回…錢 ▲…
發行兼編輯人 秋山三郎
印刷人 高木久馬太
京城西…町…番地 發行所 京城新報社 電話六六三番